



THE FUTURE

令和7年度

戸田市立喜沢小学校

学校経営方針

～私は何をしに学校へ?～



子供たちが活躍する20年後、30年後（2045年～2055年頃）の社会とは

少子高齢化と人口減少

- 高齢化と少子化による人口構成の変化が社会に影響を与えることが考えられます。

労働力不足

- 今まで以上に、さまざまな人の多様な価値観の折り合いをつけながら協働していくことが求められると考えられます。

デジタル技術の進歩

- AI、ロボット、IoTなどのデジタル技術が、さまざまな場面で活用され、働き方や生活様式に大きな変化をもたらすと考えられます。

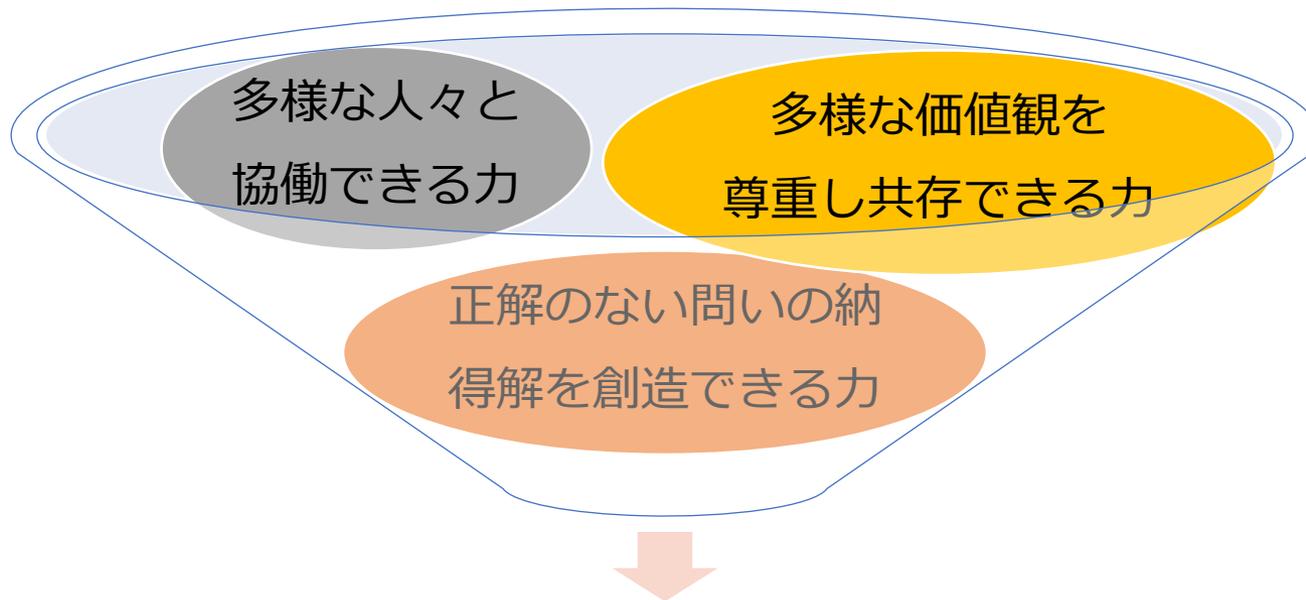
環境問題

- 地球温暖化や気候変動は社会全体の課題として、一人一人が積極的に解決に取り組むことが求められると考えられます。

多様性

- 多様な価値観を互いに認め合うことで、一人一人が幸せや生きがいを感じることができる社会、心の豊かさの時代になると考えられます。

「20年後、30年後に誰もが笑顔で暮らせる社会を創る」 ことに主体的に関わる人材を育成するために



社会課題の解決に取り組む持続可能な社会の創り手

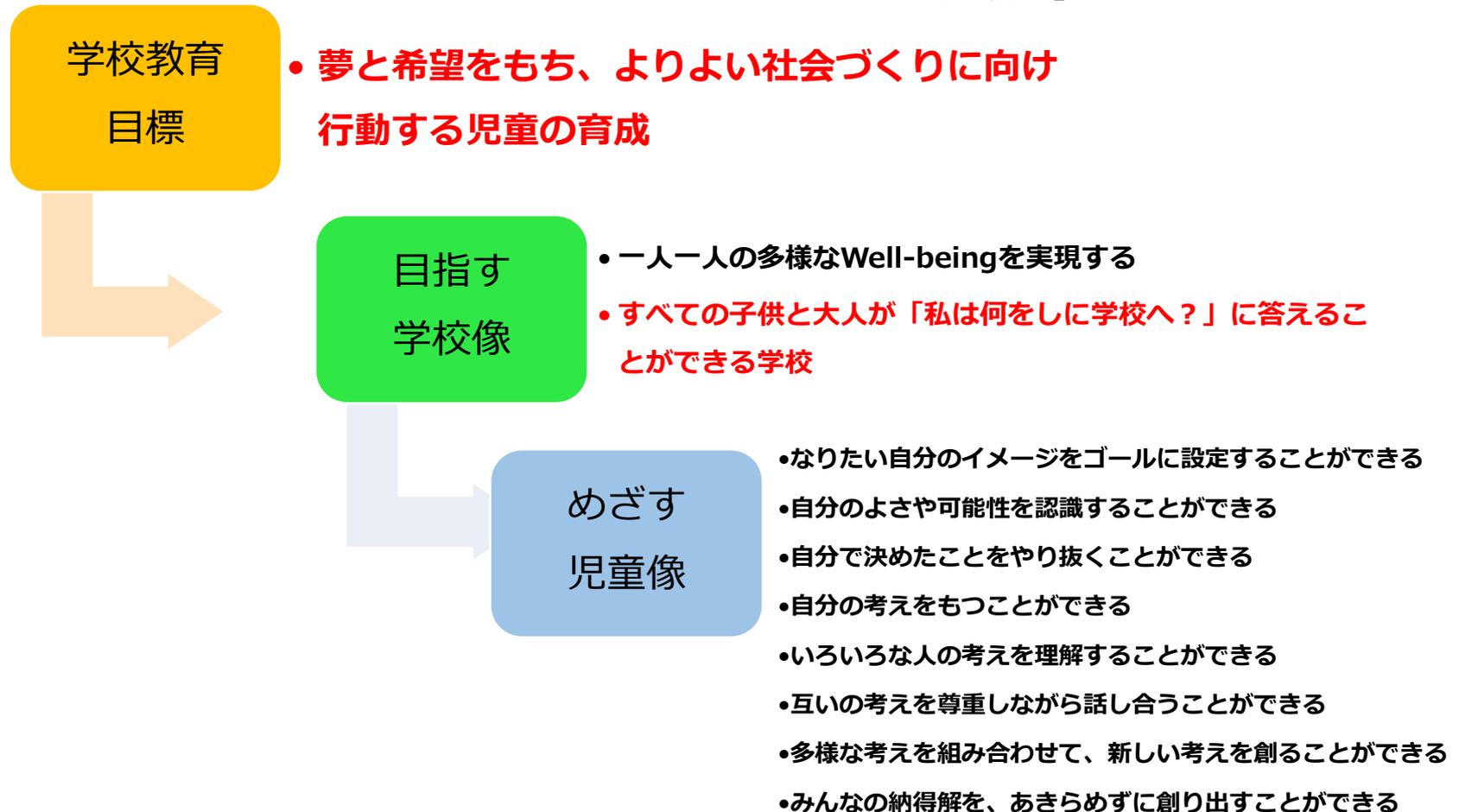
【持続可能な社会の創り手として育みたい力】

- なりたい自分のイメージをゴールに設定することができる
- 自分のよさや可能性を認識することができる
- 自分で決めたことをやり抜くことができる
- 自分の考えをもつことができる
- いろいろな人の考えを理解することができる
- 互いの考えを尊重しながら話し合うことができる
- 多様な考えを組み合わせ、新しい考えを創ることができる
- みんなの納得解を、あきらめずに創り出すことができる

学校経営方針

- 全ての児童が持続可能な社会の創り手となる
- 「何のために学ぶのか」という学習の意義を
- 「私は何をしに学校へ？」という目的を
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- 多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越える
- 豊かな人生を切り拓く

- 学んだこと人生や社会で生かそうとする「学びに向かう力、人間性」
- 社会や生活で働く「知識及び技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」
- 好奇心、やり抜く力、自制心などの「非認知能力」



めざす学校像「一人一人の多様なWell-beingを実現」のための学校のカタチ

【脱・正解主義】

教師の正解を探し求める学校から

子供が最適解をつくる学校

【脱・予定調和】

教師のルールを歩む学校から

子供の試行錯誤を尊重する学校

【脱・教師主導】

教師主導の学校から

子供自身が学びのハンドルを握る学校

今求められる学力のイメージ
【バランスのとれた3要素】

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
【主体性・多様性・協働性・学びに向かう力・人間性】

何を知っているか
何ができるか
【個別の知識・技能】

知っていること・
できることをどう
使うか
【思考力・判断力・表現力等】

人生100年時代の社会人基礎力
【3つの能力と12の能力要素】

前に踏み出す力

主体性

働きかけ力

実行力

考え抜く力

課題
発見力

計画力

創造力

チームで働く力

発信力

傾聴力

柔軟性

状況
把握力

規律性

ストレスコントロール力

★すてきな喜沢小にするための

3つの大切

じぶん かんが こうどう
自分から考え、行動しよう。

じぶん たいせつ
自分もみんなも大切にしよう。

あきらめないでやりきろう。



なかまをいっしょに
★well-being★

昨年度からの変更点

- ・表題の「すてきな喜沢っ子になるため」を「すてきな喜沢小にするため」に変更
学校教育目標「よりよい社会づくりに向け行動する」の社会を喜沢小と考え、
3つの大切を喜沢小の行動規範としました。
- ・「自分も友達も大切にしよう」を「自分もみんなも大切にしよう」に変更
友達だけでなく誰に対しても大切にしようとする気持ちをもてるようにと考えました。

目指す児童像と 3つの大切な関連

持続可能な社会の創り手
社会課題の解決に主体的に
取り組む人



【多様な価値観を尊重・共存】

【多様な人々と協働】

【正解のない問いの納得解を創造】

なりたい自分のイメージをゴールに設定できる

【自分もみんなも大切にしよう】

自分のよさや可能性を認識することができる

【自分もみんなも大切にしよう】

自分で決めたことをやり抜くことができる

【あきらめないでやりきろう】

自分の考えをもつことができる

【自分から考え行動しよう】

いろいろな人の考えを理解することができる

【自分から考え行動しよう・自分もみんなも大切にしよう】

互いの考えを尊重しながら話し合うことができる

【自分から考え行動しよう・自分もみんなも大切にしよう】

多様な考えを組み合わせ、新しい考えを創造することができる

【自分から考え行動しよう】

みんなの納得解をあきらめずに創り出すことができる

【自分から考え行動しよう・自分もみんなも大切にしよう・あきらめないでやりきろう】

めざす教師像

教育の成否は教師の力量・情熱、使命感に因る

情熱×使命感×指導力＝教育効果

- **教育に対する情熱**と**使命感**をもつ教師
- **未来を予測**し、児童に**必要な資質・能力**を育む教師
- **教育のプロ**として**常に研究と修養に努める**教師
- **各教科等の本質**を捉えた確かな指導力をもつ教師
- **豊かな人間性**を備えた教師
- **保護者や地域の思いや願いを大切**にする教師

基本方針

目標や課題を明確にし、創意ある授業づくり、学級づくり、生活づくりに努める

- ①学習や生活の基盤づくり
- ②指導法の工夫・改善
- ③創意ある教育課程の編成・実施・評価の工夫
- ④手をかけ、目をかけ、声をかける、児童に寄り添う指導

教職員の連携・協力を図り、創造的で活力ある学校運営に努める

- ①修養 ②協働 ③創造 ④効率

研修を充実し、教師として資質や指導力の向上に努める

- ①学び合い ②学校課題研修 ③個人の研修課題の設定

教育環境の整備・充実・美化とその有効活用に努める

- ①美化 ②安全

コミュニティ・スクールによる「地域とともにある学校」づくりを推進する

- ①開く ②参加

本年度の重点

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業改善

全ての児童が力を発揮できる誰一人取り残されない学びの保障

互いのよさや違いを認め合う人間関係の構築と、安心感のある学級経営

安全できれいな環境整備

教育活動の質を高めるために創造的余白を生み出す働き方改革の推進

保護者・地域からの信頼を得る教育公務員としてのサービスの徹底

「総合的な学習の時間」カリキュラムイメージ

持続可能な社会の創り手

3年

- 【Well-beingな学級づくり】
- ○主権者教育
 - ※キャリア教育
 - ※学級活動(1)(2)(3)

4年

- 【災害からみんなを守ろう】
- ○防災教育
 - ※キャリア教育
 - ※主権者教育
 - ※社会科・理科
 - ※外部連携

5年

- 【生きる意味を考える】
- ○キャリア教育
 - ※学級活動(1)(2)(3)
 - ※外部連携
 - ※エントリーシートを書けるタネをまく

6年

- 【Well-beingな学校づくり】
- ○主権者教育
 - ※キャリア教育
 - ※学級活動(1)(2)(3)
 - ※社会科

日常的な活動として

- ・手帳アプリやGoogleカレンダーの活用したスケジュールやタスク管理
- ・PBS

自分から考え
行動する

自分もみんなも
大切する

あきらめないで
やりとげる

1. 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
2. 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができるようにする。
3. 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

総合的な学習の時間 各学年の学習内容

3年【Well-beingな学級づくり】※主権者教育・キャリア教育

- 学級は児童にとって一番身近な社会。児童の主体的な社会参画へとつながる主権者意識を醸成する上で、**学級の生活上の課題を見だし、課題を解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図ることができるようにする。**
- みんなで話し合って決めたことに協力して取り組んだり、自分のよさや可能性を發揮しながら活動に取り組んだりすること、活動や振り返りを通して互いのよさや頑張りに気づき、よりよい生活づくりに生かしたりすることで、**児童が自分と集団や社会との関係に気付くだけでなく、自分たちで自らの集団や社会の生活をよりよいものにすることができた、という実感をもつ。**
- 特別活動とのカリキュラム・マネジメントで、集団や社会における人間関係をよりよく形成する「**人間関係形成**」、自分たちの集団の生活上の課題解決に向けた自発的、自治的な関与である「**社会参画**」、さらにはなりたい自分やよりよい自分を目指し、目標をもって取り組む「**自己実現**」の社会の形成者に求められる資質・能力を育成する。
- スクールワイドPBSの手法を学級づくりに生かすことで、児童の主体性や社会性を育むカリキュラムを作れるのではないかと。キャンペーンが単発のイベントに終始しないように継続した社会づくりになるよう考える必要がある。
- Well-beingの5領域「没頭」「他者との関係性」「達成」「ポジティブ感情」「生きる意味」が仕組まれたカリキュラムを作る。

4年【災害からみんなを守ろう】※防災教育・キャリア教育・主権者教育

- 地域は、学級と異なり多様な人とのつながりのある実社会。**家庭・学校・地域の防災上の課題を見だし、課題を解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図ることができるようにする**
- 防災教育は、①それぞれが暮らす地域の、災害・社会の特性や防災科学技術等についての知識を備え、減災のために事前に必要な準備をする能力、②自然災害から身を守り、被災した場合でもその後の生活を乗り切る能力、③進んで他の人々や地域の安全を支えることができる能力、④災害からの復興を成し遂げ、安全・安心な社会を構築する能力といった「生きる力」を涵養し、能動的に防災に対応することのできる人材を育成するために行われる。
- 社会科や理科、特活などのカリキュラム・マネジメントを進め、防災教育の中でSTEAM教育への取組を行う。
- 防災士など地域人材と連携したカリキュラムを作成する。
- Well-beingの5領域「没頭」「他者との関係性」「達成」「ポジティブ感情」「生きる意味」が仕組まれたカリキュラムを作る。

総合的な学習の時間 各学年の学習内容

5年【自分を大切にするために】※キャリア教育

- 働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、**自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要なことを理解し、行動の在り方を身に付ける**ようにする。
- 自己の生活や学習の課題について考え、**自己への理解を深め、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意志決定し、自己のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動する**ことができるようにする。
- 現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かしたり、他者と協働して目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとする**態度を養う。
- Well-beingの5領域「没頭」「他者との関係性」「達成」「ポジティブ感情」「生きる意味」が仕組まれたカリキュラムを作成する。特に「生きる意味」を考えることができるカリキュラムとなるよう工夫する。

6年【Well-beingな学校づくり】※主権者教育・キャリア教育

- 学校は6年生児童にとって一番身近な社会。児童の主体的な社会参画へとつながる主権者意識を醸成する上で、5年生までに学習してきたことを生かし、**学校の生活上の課題を見だし、課題を解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図ることができるようにする**。
- みんなで話し合って決めたことに協力して取り組んだり、自分のよさや可能性を発揮しながら活動に取り組んだりすること、活動や振り返りを通して互いのよさや頑張りに気付き、よりよい生活づくりに生かしたりすることで、**児童が自分と集団や社会との関係に気付くだけでなく、自分たちで自らの集団や社会の生活をよりよいものにすることができた、という実感をもつ**。
- 特別活動とのカリキュラム・マネジメントで、集団や社会における人間関係をよりよく形成する「**人間関係形成**」、自分たちの集団の生活上の課題解決に向けた自発的、自治的な関与である「**社会参画**」、さらにはなりたい自分やよりよい自分を目指し、目標をもって取り組む「**自己実現**」の社会の形成者に求められる資質・能力を育成する。
- スクールワイドP B Sの手法を学級づくりに生かすことで、児童の主体性や社会性を育むカリキュラムを作れるのではないか。キャンペーンが単発のイベントに終始しないように継続した社会づくりになるよう考える必要がある。
- Well-beingの5領域「没頭」「他者との関係性」「達成」「ポジティブ感情」「生きる意味」が仕組まれたカリキュラムを作る。